

保健所
強化

一過性でなく恒常的な体制強化を

6月28日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議団の松本のり子議員と朝倉えつ子議員が登壇し一般質問をおこないました。

質疑項目

1. 新型コロナウイルス感染症対策と保健所体制の強化について
2. 学校の校則について
3. 王子動物園の再整備について
4. ファッション文化・産業の振興について

新型コロナウイルス感染症によって全国で保健所体制の脆弱さが明らかになりました。1994年に地域保健法が改悪されたことにより保健所の統廃合がすすみ、神戸市でも保健センターが各区に配備され、保健所は中央区に1か所だけとなりました。保健師の仕事はコロナ対策に加え地域

の疾病予防と健康維持・増進や母子保健など公衆衛生の強化です。コロナ禍で保健師は増員されましたが、ピーク時には残業100時間を超えていたとのこと。松本議員は、一過性の体制強化で終わらせず感染症対策と通常業務ができるように体制を維持・増加させるよう追及しました。

答弁ダイジェスト

久元市長：2022年4月には

約300名になる予定。これは一過性の対応ではない。

ブラック校則見直し

子どもの権利条約を 生徒と教師が学び定着させてこそ

神戸市の中学校の校則が子どもの髪形や服装などのライフスタイルを規制していますが、ライフスタイルは子ども達一人ひとりの基本的な人権の問題です。「下着や靴下・靴は白でなければならない」「髪を結ぶゴムは黒で耳から下でないといけない」など細かな校則を子ども達に押し付

けています。先の常任委員会で教育長は「子どもが権利を理解したうえで取り組む」と答弁しました。松本議員は、大人が享受している自由と同じ自由が規定されている子どもの権利条約を、教師・子ども達がいっしょに学び、校則の見直しに取り組むよう求めました。

答弁ダイジェスト

長田教育長：まずは教職員が子どもの権利条約や子どもの権利に関する理解を深め、児童生徒が条約や権利を学び、自らが意見を述べる過程を大切にすすめるべきと

考えている。

松本議員：教育長は長年その場所に座っているが、下着や靴の色や髪形などを指導してきた根拠は何か。

長田教育長：学校ごとに経緯や理由があると思っている

松本議員が
一般質問



松本議員：コロナの自宅療養では医師の判断が必要な治療があるが、現在医師は5名しかいない。保健師の増員とともに医師の配置も必要ではないか。

恩田副市長：全国的に公衆衛生の医師の確保が難しい。応急的対策として非常勤を採用している。過去に配置していた9名をまず目安に引き続き医師確保に努力したい。

松本議員：一定の人数が確

保できたら東灘区役所と灘区役所を巡回して常時保健師と話しができるような関係づくりをすべきだ。

恩田副市長：引き続き関係部局と健康局の中で議論しながら一番よい形で配置していく。

松本議員：これまでは人数が限られていたために問題が起きてから出ていくしかなかった。本来は問題が起きる前の予防の観点で考えるべきだ。

が、中学生らしい服装や髪形として当時の時代背景のもとで定められたものではないかと思っている。

松本議員：身に着けているものは人権で、憲法で保障されるべきもの。教育委員会に問題があったのではないかと。校長がすべて仕切り意見表明権が教師にないと言われている。意見表明権のない教師が子どもたちに子どもの権利条約を教えられるわけがない。校長を筆頭にした教育改革が必要だ。きちんと意見が自由に言えるような学校現場をつくるべきだ。

長田教育長：風通しのよい職場、学校風土をつくる取り組みをすすめている。すでに子どもの権利条約や子どもの権利について学校で研修するよう通知をしている。

松本議員：今年度で方向性を見出すようだが、子ども達から聞かれた時に、根拠を教えることができるように知識と思考を身に着けない限り、子どもは教師や学校に対して信頼関係が持てない。教師が子どもの権利条約や憲法を学べるように時間をとっていただきたい。

2021年度の担当委員会

委員会	議員名
総務財政	味口としゆき
教育こども	林 まさひと 朝倉 えつ子
福祉環境	森本 真
建設防災	松本 のり子 ○今井 まさこ
経済港湾	山本じゅんじ ◎西 ただす
都市交通	大かわら鈴子
外郭団体	松本 のり子 △林 まさひと
大都市行財政	森本 真 △今井 まさこ
未来都市創造	西 ただす △味口としゆき
市会運営	△味口としゆき 林 まさひと

◎委員長、○副委員長、△理事

王子動物園再整備

机上の空論ではなく、動物の実状見て計画を!

久元市長は1月29日の会見で、王子動物園の再整備を発表しました。動物園エリアは基本的に今のエリアの中でおこなうとされています。しかし、今の動物園エリアは決してスペースが十分ではなく、

象舎やキリン舎は日本動物園水族館協会の基準にてらしても半分程度の広さとなっています。松本議員は、動物園整備は動物の福祉の観点からも十分なスペースを確保すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

油井副市長: まだ王子動物園がどれくらいの規模なのか

は正式に決まっていないが、平面的ではなく立体的に建てるようなところもある。現在

の規模で足りなくなることはない。

松本議員: 象やキリンだけが狭いのではない。フクロウや鷺も鳩小屋のようで、少ししか飛べない。今整備すると50年100年と続く。もう少し一つ一つ動物を見て考えるべきだ。また、再整備に関する会議資料を見ると今の王子公園スペースに大学が入ってくることになっている。今の限られたスペースで完成させることになれば縦に高い檻ばかりができるのではないかと心配だ。

油井副市長: 王子動物園の特徴が市街地にある都市型の動物園で、1か所で多くの動物と触れ合えることが重要と考えている。まだガイドラインが策定されていないが今の規模で王子動物園としてやっていけると考えている。

松本議員: 企画調整局は計画だけで何も言わない。一番動物のことを理解している飼育員の声をしっかり聞いてすすめるべきだ。広げる必要がある場合は建設局が中心となって意見を出し、取り組んでいただきたい。

済生会兵庫県病院 「今のまま」「今の場所で」

市民の願いに応え、市の支援で存続を

北神・三田地域の将来的な急性期医療の確保のためとして、北区の済生会兵庫県病院（以下：済生会病院）と、三田市民病院の再編統合も視野に入れた検討委員会がおこなわれています。この間、身近な病院がなくなると懸念の声が広がり、地域住民や患者、

利用者みなさんから存続を求める1万筆を超える署名が寄せられました。朝倉議員は、コロナ禍で医療の大切さが浮き彫りになったことを強く指摘し、市民の願いに応え、病床を削減するような再編統合はやめるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

久元市長: 済生会病院より単独で将来的に地域の基盤病院として急性期医療を継続して維持していくことが困難だと報告があった。この報告を踏まえ検討委員会を設置し、再編統合も視野に入れた方策を検討していくことになった。

朝倉議員: 県の健康福祉部健康局長が統合や病床削減を

誘導する発言をしているが、北神地域の医療需要は今後も増え続ける。周産期医療を守るために市が支援しているのだから、市長として存続の立場で臨むべきだ。

恩田副市長: 援助はしたが、今すぐに病院の運営が行き詰まるという話ではない。

朝倉議員: 他人事のような。市民の命や安全にかかわる問

朝倉議員が 一般質問

質疑項目

1. 地域医療体制の維持・強化について
2. 市有地を活用したまちづくりについて
3. 神戸に住み続けたいと思える子育て支援について



題だ。検討委員会には住民の代表が1名しか入っていない。多数の地域みなさんの声を反映させ方向性を決めるべきだ。市長の見解を聞きたい。

恩田副市長: 検討会を踏まえて必要な場合には調査・検討をさせていただこうと思っ

ている。

朝倉議員: なぜ市長は存続の立場にたたれないのか。方向性を決めてしまってからでは遅い。住民の意見を受けとめ、住民置き去りの計画にならないよう、説明会の開催も早期におこなうべきだ。

旧北区役所跡地

区民の願いに応え新図書館の整備を

北区鈴蘭台にある北図書館は、市内で最も古く、北区文化センターの2階と3階にあり、体育館や学習室と併設されています。入口の3階から2階へ通じる通路は狭い階段しかなく、バリアフリーになっていません。小さいお子さんを連れてくるお母さんや高

齢の方からは「上り下りが大変」「もっと使い勝手良く」と声があがっています。北神図書館や西区・垂水区でも順次図書館が整備されています。朝倉議員は、市民の声にこたえ、旧北区役所跡地に新たな北図書館を整備すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

今西副市長: すべてバリアフリー化することはできない。これまでも多くの指摘を受け、旧北区役所跡地などを総合的に検討する必要があると考えている。今後の整備の方向性を検討していきたい。

朝倉議員: 急激的な解消では限界がある。婦人会などからも北図書館の改修の要望が出されている。いつまでに方向性を打ち出すのか。

今西副市長: いつまでにといい明確なことは今言えないが、大変多くの方に要望いただいているので、できるだけ早くと考えている。

朝倉議員: 図書館は親しみのある身近な公共施設なので、計画の段階から地元の方たちと協議できるような仕組みをつくり、誰もが使い勝手のよい図書館へ改善するよう、市民と共同ですすめていくべきだ。